

8.11 自然との触れ合い活動の場

8.11.1 現況調査

(1) 調査事項及びその選択理由

自然との触れ合い活動の場の現況調査の調査事項及びその選択理由は、表 8.11-1 に示すとおりである。

表 8.11-1 調査事項及びその選択理由

調査事項	選択理由
①主要な自然との触れ合い活動の場の状況 ②地形等の状況 ③土地利用の状況 ④自然との触れ合い活動の場に係る計画等 ⑤法令による基準等	工事の施行中における建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う影響、並びに、工事の完了後における施設の稼働や廃棄物等運搬車両の走行により、自然との触れ合い活動の場の持つ機能への影響が考えられるため、計画地及びその周辺について左記の事項に係る調査が必要である。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

(3) 調査方法

ア 主要な自然との触れ合い活動の場の状況

(ア) 既存資料調査

既存資料を整理した。

(イ) 現地調査

a 調査期間

現地調査の調査期間等は、表 8.11-2 に示すとおりである。

表 8.11-2 調査期間等

調査事項	調査期間		調査時間	気候
自然との触れ合い活動の場の状況	冬季	休日：平成 30 年 1 月 28 日（日） 平日：平成 30 年 1 月 30 日（火）	7:00～18:00	晴れ
	春季	休日：平成 30 年 4 月 22 日（日） 平日：平成 30 年 5 月 11 日（金）		晴れ
	夏季	休日：平成 30 年 7 月 31 日（火） 平日：平成 30 年 8 月 5 日（日）		晴れ
	秋季	休日：平成 30 年 11 月 11 日（日） 平日：平成 30 年 11 月 14 日（水）		晴れ

b 調査範囲・地点

調査範囲及び地点は図 8. 11-1 に示すとおりである。

調査範囲は、計画地敷地境界から 200m 程度の範囲及び計画地から青梅街道までの松の木通り並びに隣接樹林地とした。調査地点は、玉川上水緑道及び野火止用水緑道とした。

なお、隣接樹林地については、野火止用水緑道の一環として調査を実施した。

c 調査方法

自然との触れ合い活動の場の状況は、設備の状況及び利用状況を写真撮影又は目視等により確認した。利用状況は、2 時間ごとに調査地域を踏査した。

また、利用状況については、音や臭いの快適性に関する事項も記録した。

なお、写真撮影（カメラ）は、富士フィルム FinePix Z800EXR を使用した。

イ 地形等の状況

既存資料を整理・解析した。

ウ 土地利用の状況

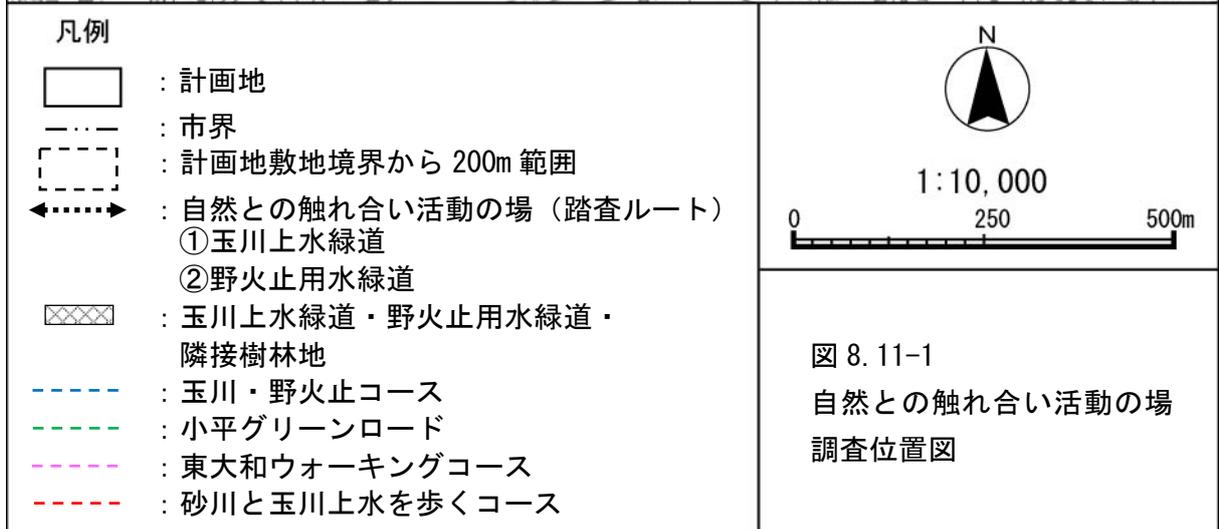
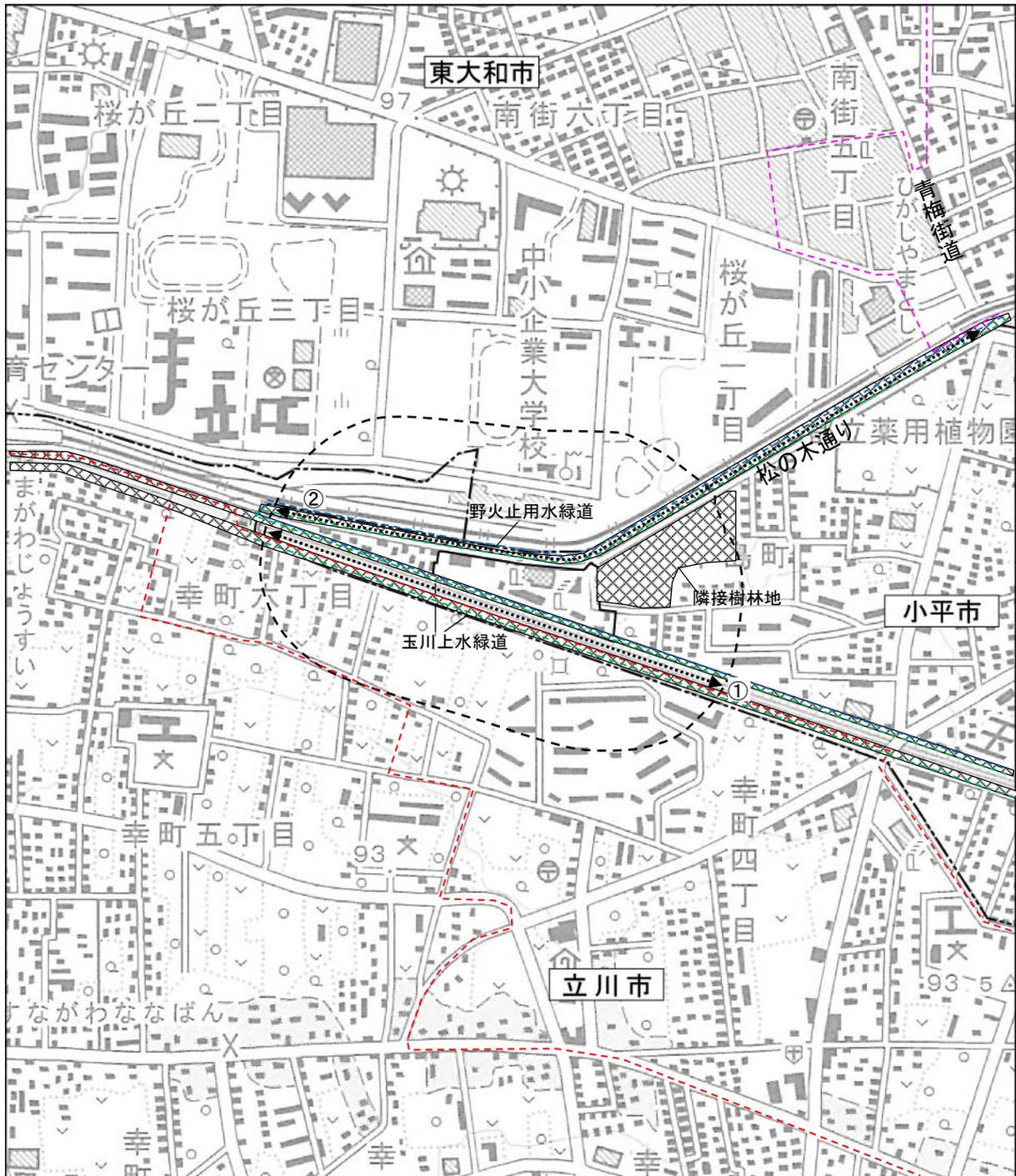
既存資料を整理・解析した。

エ 自然との触れ合い活動の場に係る計画等

既存資料を整理・解析した。

オ 法令による基準等

関係法令等を調査した。



(4) 調査結果

ア 主要な自然との触れ合い活動の場の状況

(ア) 既存資料調査

計画地周辺における、主要な自然との触れ合い活動の場の状況は、「7.3 (参考) 地域の概況 7.3.1 一般項目 (4) 土地利用 オ公園等」(p.78～82 参照)に示したとおりである。

計画地から最も近い自然との触れ合い活動の場として、計画地の南側に玉川上水緑道、北側に野火止用水緑道が近接している。また、玉川上水緑道及び野火止用水緑道は、東京都で「玉川・野火止コース」、小平市で「小平グリーンロード」、東大和市で「東大和ウォーキングコース」、立川市で「砂川と玉川上水を歩くコース」として散歩道やウォーキングコースが設定されている。

(イ) 現地調査

玉川上水緑道及び野火止用水緑道の利用者数は表 8.11-3、設備等の状況は図 8.11-2 及び写真 8.11-1、利用の状況は表 8.11-4 に示すとおりである。なお、利用者数及び利用目的調査結果は資料編 (p.280～282 参照)に示すとおりである。

玉川上水緑道は、玉川上水を境に小平市側、立川市側で遊歩道となっており、ベンチや橋が設けられている。調査範囲内では、「じょうすいこぼし」及び「西中島橋」の2つの橋があり、玉川上水を横断できるようになっている。主な出入口は、周辺の街路に繋がる箇所を設置されている。主な利用の状況は、平日、休日ともに、通勤・散歩等による利用者が多くみられた。

野火止用水緑道は、小平市道である松の木通りと平行して、遊歩道が整備されており、ベンチやトイレ等が設けられている。また、主な出入口は、松の木通り沿いに数ヶ所設置されている。主な利用の状況は、平日、休日ともに、通勤・散歩等による利用者が多くみられた。

また、隣接樹林地内には、ベンチやトイレ等の設備は設けられていない。入口は松の木通り沿い3ヶ所、隣接樹林地南側住居側に2ヶ所整備されており、利用の状況は、通勤・散歩等の利用が若干見られた。

なお、音や臭いの快適性の状況については、計画地敷地境界付近では、粗大ごみ処理施設や不燃物積替場からの破砕等による作業音や場内を走行する廃棄物等運搬車両の走行音が一時的に聞こえた。また、夏季調査時には、野火止用水緑道側にある東門付近で、悪臭が一時的に感じられた。

表 8.11-3 玉川上水緑道及び野火止用水緑道の利用者数

単位：人

時期	利用目的	玉川上水緑道		野火止用水緑道	
		平日	休日	平日	休日
冬季	通勤・散歩等	47	25	101	50
	運動	6	10	1	5
	休憩	2	2	5	6
	遊び	11	16	0	3
	自転車	6	0	13	2
	その他	2	0	0	0
	合計	74	53	120	66
春季	通勤・散歩等	136	93	65	40
	運動	7	16	3	5
	休憩	5	2	32	15
	遊び	11	0	0	0
	自転車	14	22	6	9
	その他	0	0	0	1
	合計	173	133	106	70
夏季	通勤・散歩等	50	59	48	39
	運動	4	24	3	3
	休憩	0	6	8	9
	遊び	0	6	0	2
	自転車	26	19	18	8
	その他	0	0	0	0
	合計	80	114	77	61
秋季	通勤・散歩等	86	96	49	67
	運動	5	23	0	7
	休憩	4	2	9	26
	遊び	0	4	0	0
	自転車	13	16	8	8
	その他	0	0	0	0
	合計	108	141	66	108